



ローパーティション

■XFパネル 直線レイアウト制限

- パネルを直線にレイアウトする際、転倒を防止するため下に示す各条件を必ずお守りください。ただし、各物件での什器の配置や躯体の仕様によっては条件が異なります。
- ※フリージョイントボールをご使用の際のレイアウト制限はP.巻末06XFスクリーンをご参照ください。

品名	図記号
パネル本体	—
サポート安定脚	◀ ▶
自立安定脚	■ ■
床固定金具	○
各連結ボール	□



連結長さ:3600mm以下 連結数:4枚以下
 控えパネル:W450mm以上
 ----- :ブックスヘルフ取付可能位置(フック取付推奨位置)

注意 ●最大積載質量は、パネル1枚あたりブックスヘルフ(15kg)、フック(5kg)です。

■LFシリーズ 直線レイアウト制限

- パネルを直線にレイアウトする際、下に示す各条件を必ずお守りください。ただし、各物件での什器の配置や躯体の仕様によっては条件が異なります。
- ドアパネルのレイアウト制限はP.巻末08ドアパネルレイアウト制限をご参照ください。
- パネルの安定性を強化するために、パネル安定板の併用をおすすめします。

品名	図記号
パネル本体	—
両面用安定脚	◀ ▶
片面用安定脚	▶
床固定金具	○
各連結ボール	□



連結長さ:3600mm以下 連結数:4枚以下 控えパネル:W450mm以上
 パネルと控えパネルの段差:化粧パネル1段分(300mm)のみ
 ----- :ブックスヘルフ取付可能位置(フック取付推奨位置)

注意 ●最大積載質量は、パネル1枚あたりブックスヘルフ(15kg)、フック(5kg)です。

図30-1

図30-2

図30-3

連結長さ:
3600mm以下
連結数:4枚以下

控えパネル:
W600mm以上

パネルと
控えパネルの段差:
300mm以下

注意 ●控えパネルが片側のみの取付の場合は下記2点のどちらかで対応のこと
 ・すべての控えパネルの反対側にサポート安定脚を取り付ける
 ・すべての控えパネルエンド部に床固定金具を取り付ける

図34-1

図34-2

図34-3

連結長さ:
3600mm以下
連結数:4枚以下

控えパネル:
W600mm以上

パネルと
控えパネルの段差:
化粧パネル1段分
(300mm)のみ

注意 ●パネル2枚につき1つ両面用安定脚をフレーム連結部に取付のこと
 ●控えパネルが片側のみの取付の場合は下記2点のどちらかで対応のこと
 ・すべての控えパネルの反対側に片面用安定脚を取り付ける
 ・すべての控えパネルエンド部に床固定金具を取り付ける

図31
 控えパネルを使用せず
 安定脚のみの場合
 サポート安定脚での対応
 不可

自立安定脚

注意 ●直線レイアウトの両端に自立安定脚を取付のこと
 ●パネル2枚につき1つの自立安定脚を取付のこと
 ●下記2点は安定脚のみではレイアウトできませんのでご注意ください
 その際は控えパネルにて対応願います
 ・H1920パネルを含む場合
 ・連結長さ3600mmを超える場合

図35
 控えパネルを使用せず
 安定脚のみの場合
 ガラスパネル、コンビパネル
 を含む場合は不可

両面用安定脚

注意 ●直線レイアウトの両端に両面用安定脚を取付のこと
 ●パネル2枚につき1つの両面用安定脚をフレーム連結部に取付のこと
 ●下記2点は安定脚のみではレイアウトできませんのでご注意ください
 その際は控えパネルにて対応願います
 ・H1925パネルを含む場合
 ・連結長さ3600mmを超える場合

図32-1
 片側一端控え(L型)
 H1320以下の場合

A) 連結長さ:2700mm以下
 連結数:3枚以下
 B) 連結長さ:A/2以上

図32-2
 H1620・H1920の場合

A) 連結長さ:2400mm以下
 連結数:3枚以下
 B) 連結長さ:A/2以上
 AとBの段差:300mm以下

注意 ●A端部に必ずサポート安定脚を取り付けること

図36-1
 片側一端控え(L型) H1320以下
 もしくはH1025・H1325の場合

A) 連結長さ:2700mm以下
 連結数:3枚以下
 B) 連結長さ:A/2以上
 AとBの段差:化粧パネル1段分
 (300mm)のみ

図36-2
 H1625・H1925の場合

A) 連結長さ:2400mm以下
 連結数:3枚以下
 B) 連結長さ:A/2以上
 AとBの段差:化粧パネル1段分
 (300mm)のみ

注意 ●A端部に必ず両面用安定脚を取り付けること